

令和8年6月第2回 木島平村議会定例会 行政事務一般質問通告書

【木島平村議会議員 山本 隆樹】

質問事項	質問要旨	答弁者
1. 地域公共交通について	<p>各自治体で地域公共交通の在り方が問われてきている。</p> <p>飯山市では、地域住民および観光客の移動手段の確保と利便性向上を目的とした「いいやま相乗りタクシー」の実証実験を実施し、令和8年10月からの本格運行が決定した。運行地域として飯山市、野沢温泉村、木島平村に設定することとなる。</p> <p>公共交通は単なる移動インフラではなく、医療・福祉・教育・地域経済を支える生活基準である。</p> <p>① 木島平村の地域公共交通、デマンド交通（ふう太号）、およびシャトル便の現状と課題を伺う。</p> <p>② 「いいやま相乗りタクシー」の概要は。また、木島平村デマンド交通（ふう太号）との兼ね合いは。</p>	村 長
2. 「住みたい田舎」更なる取組を	<p>宝島社発行の雑誌「田舎暮らしの本」の中の「住みたい田舎ベストランキング」で木島平村は常に村の部門として上位にランクされ続けている。村長のコメントでも「奥山から流れ出る清らかな水と四季折々の農村風景、そこで育まれる米や野菜などおいしい食が自慢」と述べられ、観光振興局長からも「木島平村は奇跡の村」と村の魅力が語られた。</p> <p>関係人口を含めた、村を支える仲間を増やしていく視点、また、受け入れ側の対応として弾みをつけなければならない。</p> <p>① 耕作放棄地を活用した田畑のオーナー制度で成功している自治体がある。村としての取組と課題は。</p> <p>② テレワーク、ワーケーションで成功している自治体もある。村の現状と課題は。</p> <p>③ 連携協定締結大学として、早稲田大学、國學院大学、東京大学、東京農業大学、ものづくり大学、桐朋学園大学がある。</p> <p>継続して、来村してもらえる取組は。</p>	村 長